

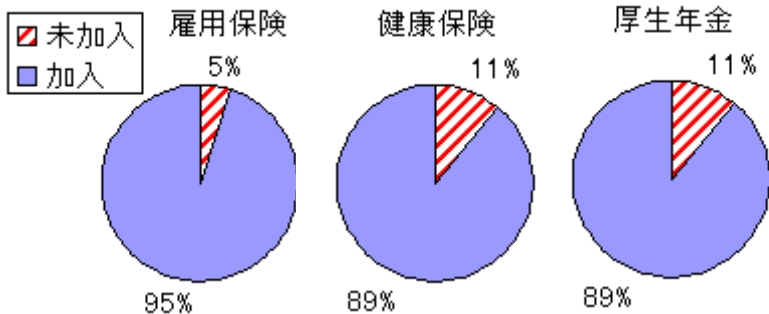
データ分析⑨ 労働福祉の状況に関して

■ 社会保険の加入状況に関して

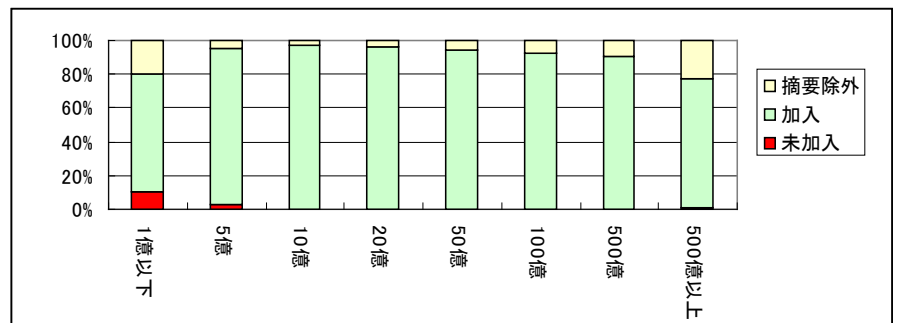
平成24年7月より、経審の「その他の審査項目(社会性等)」W評点の労働福祉の状況で、「雇用保険」と「健康保険・厚生年金」の加入の有無が、「雇用保険」と「健康保険」、「厚生年金」と2項目から3項目となり、それぞれの保険に加入していないときの減点幅が大きくなりました。仮に健康保険を加入していなかった企業は総合評定値P点が14~15点低くなり、健康保険と厚生年金共に入っていない企業は総合評定値P点が71~72点低くなり大きな影響となります。

さて、国交省の調べでは平成24年10月時点で、雇用保険に加入していない企業は5%、健康保険、厚生年金保険に加入していない企業はそれぞれ11%あります。

労務者側からの調査では、雇用保険、健康保険、厚生年金保険の未加入者の割合は25%、39%、40%と多くの方が未加入といった実態です。



[健康保険に関する完工高別の加入率]



上記のグラフは、経審を平成24年度に申請した企業の健康保険の加入状況を調査したグラフです。完工高は年平均完工高で1億円以下より、5億円、10億円と平均完工高別に集計したときに、完工高の低い会社が健康保険の加入率が低いことが分かります。(1億円以下の未加入率10.2%、1~5億円までの未加入率は3.3%、全体での未加入率は7.8%でした。この数値は独自に調査したものです)。厚生年金の未加入率も健康保険とほぼ同様の傾向が見られました。

国交省の発表では、平成29年度は元請企業は勿論のこと、下請業者(2次以降も全て含む)においても100%保険加入を目指しており、加入していない企業の使用は認めない方向で進めています。

同時にその対策として、企業としては保険加入で影響する法定福利費に関して発注者が負担する工事価格に含まれるべき経費ですので現場管理费率式の見直し、また、労務者の負担分に関して公共工事設計労務単価の引き上げを検討しています。

■ 経審博士シリーズのサポートシステム変更のご案内

経審博士シリーズのサポートの対応を平成26年3月10日より下記のとおり変更致します。

- ① サポートは基本として「e-メール」もしくは「FAX」により受け付けます。
e-メール: k-hakase@niccon.co.jp
fax: 03-3565-3653
- ② お問い合わせのあった内容は「e-メール」もしくは「FAX」でお答えします。
- ③ 経審博士のサポートサイトの「サポート情報」を充実させていきます。
「サポート情報」はできる限り分かり易い解説(資料)を掲載します。
内容の複雑なものに関しては直接電話をお掛けしますが、多少、日時がかかることがありますのでご了承下さい。
HPアドレスは下記のとおり。検索は「経審博士 サポート情報」で検索

■ 経審博士11(+Form)の最新バージョン

経審博士11 …Ver11.004
経審博士11+Form…Ver11.104

- 平成25年4月からの建設業法施行規則の一部改正に対応
- ① 平成25年4月の建設業法施行規則の一部改正による株主資本等変動計算書と注記表の変更の対応。
 - ② CIIC分析パックの新バージョン対応。
(CIIC分析パックが法人版Ver4.30、個人版Ver.4.30)
 - ③ 工事経歴書出力をエクセルシートに出力できるようになりました。
- 既に経審博士11シリーズをお持ちの方は「経審博士メンバーズ」より無償でダウンロードすることができます。
インターネットの検索「経審博士メンバーズ」で検索できます